

ワトソニアンサイドカー 100年の歩み

The longest running sidecar manufacturer

自動車黎明期から現在まで生産し続ける自動車メーカーは、すでに100周年記念を迎えている。

2012年、サイドカーという特殊な分野で創業100周年を迎えるメーカーがある。

イギリスのワトソニアンサイドカーがそれである。

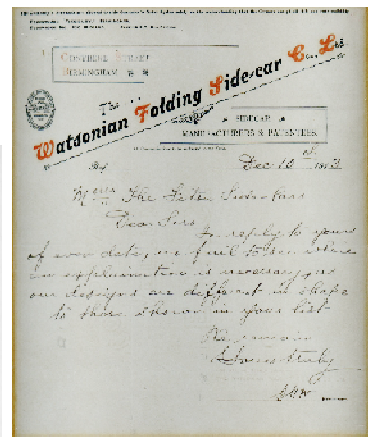
ワトソニアンサイドカーを生産するワトソニアン・スクワイヤー社は、イギリス バーミンガム南部にあり、とてもどかな所に工場があります。従業員は、約20名で今だ伝統的手法でサイドカーを作り続けている。現在生産するモデルは、サイドカーが10モデル、トレーラーが4モデルです。

ワトソニアンサイドカーの100年という長い歴史をざっとかいつまんでご紹介しよう。

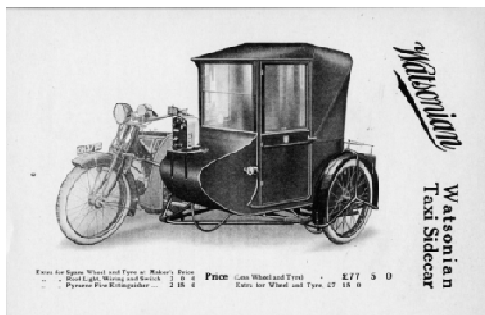
- 1912年 イギリス、バーミンガムに住むフレッド ワトソン氏により創設。折りたたみ式サイドカーを考案。特許を取りヒットさせる。これは、当時のイギリスの住宅事情によりバックヤード（裏庭）から狭い通路であってもサイドカーを持ち出せる様に考案されたものである。ちなみにワトソン氏の本業は、建築業であった。社名は、ワトソニアンホールディングサイドカーCo.Ltd となる。トレードマークは、まだ手書き文字であった。



- 1913年 ワトソニアン社が他社に出した手紙を見るとレターヘッドにサイドカー作製と特許保有者と誇らしげに記載されている。

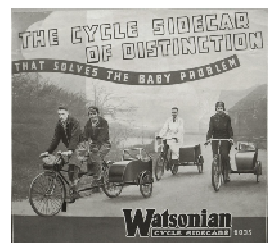
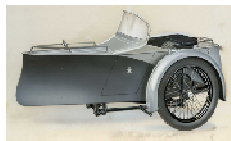
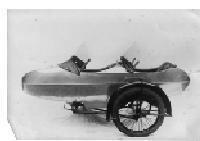
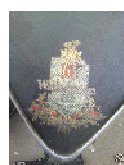


- 1922年 このころのカタログを見ると乗用モデルが5種、貨物用が2種、シャシー単体が3種、販売されていた。その中にタクシーサイドカーがあり、料金メーターも付いていた。また一般乗用サイドカーのオプションとしてフード、フロントスクリーン等があった。

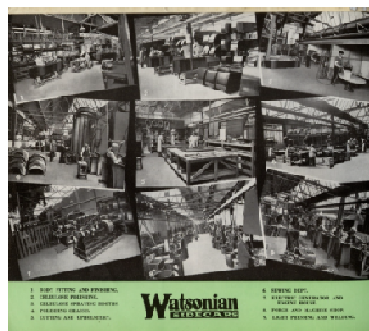


- 1930年 社名をワトソニアンサイドカーCo.Ltd に変更。トレードマークも紋章の様な威厳のあるものになった

この当時、自転車用サイドカーも生産されていた。サイドカーは、荷物が子供を乗せる為の小型の物であった。



- 1939年 カタログにある工場内の様子は、この頃のサイドカー需要の多さを物語っている。乗用モデルは、12種、貨物用は、5種と多くなっている。中には、オートバイを運ぶサイドカーやトレーラーもこの頃から生産されている。また、レース用サイドカーも販売されていた。



- 1945年 第2次世界大戦後、月産800台となる。戦後、移動手段としてサイドカーは、安価で重宝されたと考えられる。